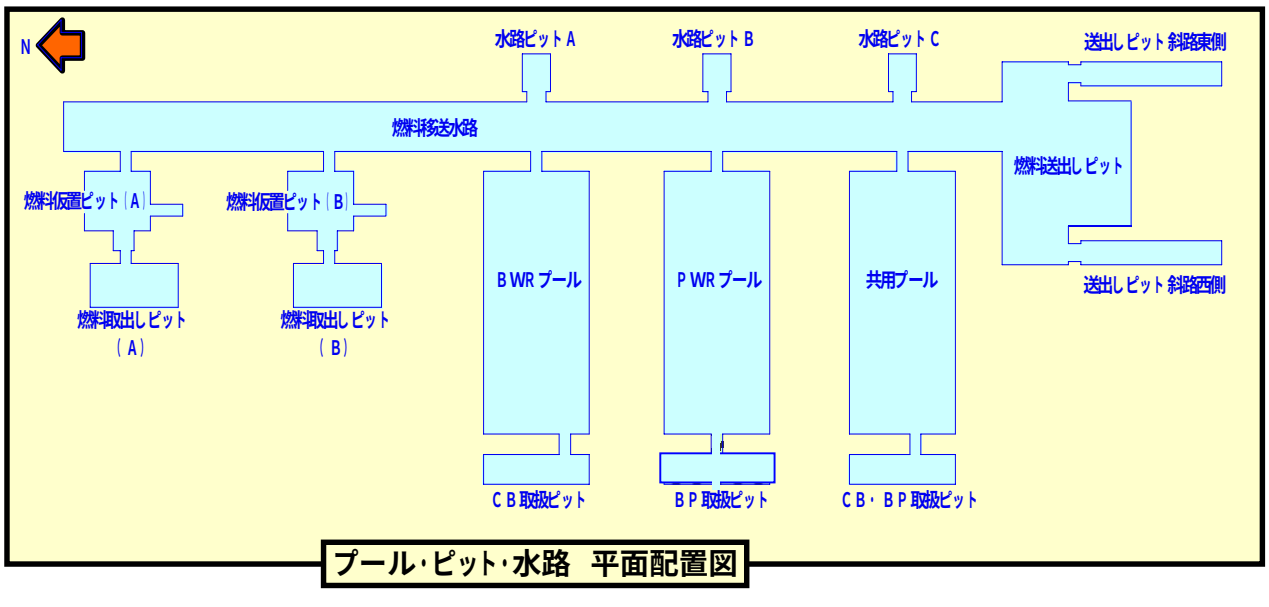
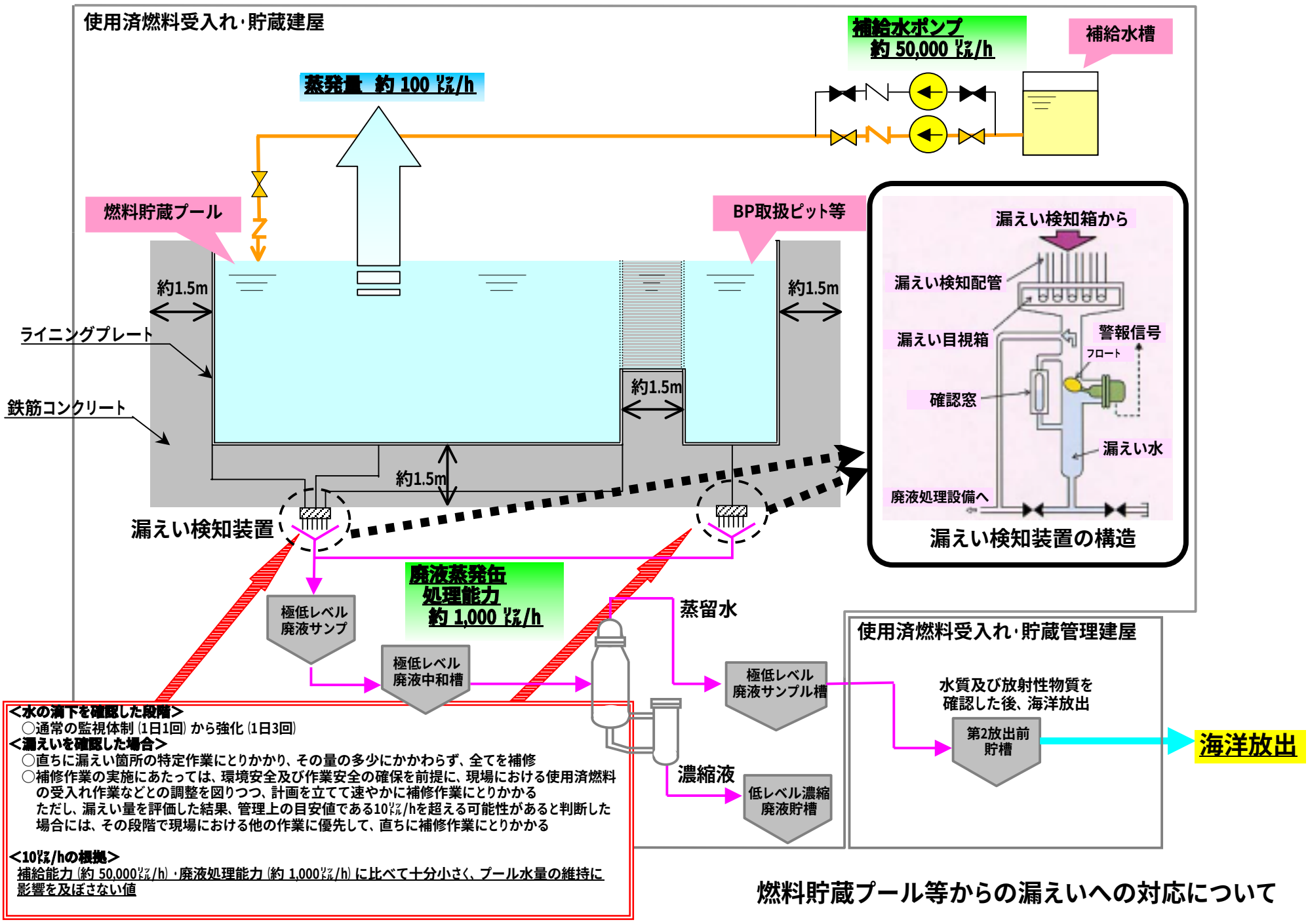
平成17年8月1日更新



プール・ピット・水路　平面配置図



＜水の滴下を確認した段階＞
- ○通常の監視体制（1日1回）から強化（1日3回）

＜漏えいを確認した場合＞
- ○直ちに漏えい箇所の特定作業にとりかかり、その量の多少にかかわらず、全てを補修
- ○補修作業の実施にあたっては、環境安全及び作業安全の確保を前提に、現場における使用済燃料の受入れ作業などとの調整を図りつつ、計画を立てて速やかに補修作業にとりかかる
  ただし、漏えい量を評価した結果、管理上の目安値である10リットル/hを超える可能性があると判断した場合には、その段階で現場における他の作業に優先して、直ちに補修作業にとりかかる

＜10リットル/hの根拠＞
補給能力（約 50,000リットル/h）・廃液処理能力（約 1,000リットル/h）に比べて十分小さく、プール水量の維持に影響を及ぼさない値

燃料貯蔵プール等からの漏えいへの対応について